

大学昇格 90 周年記念展

～「駒澤大学」のはじまり～

会期 平成 27 年 1 月 26 日（月）～8 月 2 日（日）

場所 駒澤大学禅文化歴史博物館2階 大学史展示室

主幹 駒澤大学禅文化歴史博物館 大学史資料室

平成 27（2015）年、駒澤大学は「大学」という高等教育機関として認可されてから、90 周年を迎えます（ここでいう「大学」とは、戦前のいわゆる「旧制大学」を指します）。

本学の前身である曹洞宗大学は、「大学」を称しながらも、法律上は「専門学校」として分類されている学校でした。大正 8（1919）年に公布された大学令によって大学設立の門戸が拓げられると、曹洞宗大学も専門学校から大学への昇格を目指して活動を始めました。そして、大正 14（1925）年 3 月、新たに高等教育機関である「大学」として認可され、同時に名称を「駒澤大学」に変更しました。

本展示会では、90 年前の「駒澤大学」誕生の過程を、残されている資料を用いてご紹介いたします。

1. 大学昇格とは

第一次世界大戦後、高等教育機関への進学率が激増したことに対応するため、政府は私立学校に対して国公立大学と同等の地位や機能を与える方針を採りました。このことをきっかけに、様々な学問を教授するなど独自の理念をもった私立の高等教育機関が次々に設立されていくこととなりました。

ここでは、本学の大学昇格運動の前提となる大学昇格についての簡単な概説を行ないます。

【展示資料】

- ・大学令（部分、写真） 独立行政法人国立公文書館所蔵
- ・大正 13 年 3 月 私立大学設立認可書（写真） 独立行政法人国立公文書館所蔵
- ・大正 14 年 3 月 駒澤大学設立裁可書（写真） 独立行政法人国立公文書館所蔵
- ・大正時代に大学となった学校一覧表

2. 曹洞宗大学の動き

大学令公布の後、曹洞宗大学においても大学への昇格運動が開始されました。大正 11 年 11 月 3 日に開校 40 周年記念大会において、学生らによって大学への昇格が決議されるなど、学生や教職員を中心に運動が展開されました。大正 12 年 9 月 1 日の関東大震災によって大きな打撃を受けましたが、その後半年ほどで復興を遂げ、ついに大正 13 年 3 月 30 日に大学設立の認可を文部省に申請しました。

ここでは、本学における大学昇格運動の動向を、特に昇格を促すために作成された資料を展示いたします。



【展示資料】

- ・「曹洞宗大学昇格の必要に就て」(写真、『第一義』第25巻第8号) 本学図書館所蔵
- ・「曹洞宗大学創立四十周年記念大会概要」(写真、『第一義』第26巻第13号) 本学図書館所蔵
- ・「昇格促進運動号」(『第一義』第28巻第3号) 本学図書館所蔵
- ・曹洞宗大学絵はがき 大学史資料室所蔵
- ・曹洞宗大学の校旗(写真)
- ・大学昇格の葉(コピー版) 大学史資料室所蔵

3. 「駒澤大学」の誕生

大正14(1925)年3月30日に文部省から認可され、ついに大学昇格運動は実を結びました。さらに翌31日、曹洞宗大学から「駒澤大学」への名称変更も認可されます。「曹洞宗」を名称から外すことで、より一般の学生を募集しようとしたものと考えられます。また、同年11月16日からは、3日間に渡って設立披露祝賀会が開催されました。こうして、「曹洞宗大学」は寺院出身者を対象とした曹洞宗の僧侶養成を目的とした専門学校から、「駒澤大学」という文系学問を中心として、一般学生も入学することのできる私立の単科大学へと、その性格を大きく変化させることとなりました。

ここでは、大学昇格を記念して開催された設立披露祝賀会や大学となってからの様子について、資料を用いて解説いたします。

駒澤大学ポスター→



【展示資料】

- ・駒澤大学ポスターおよび添書 駒沢女子大学所蔵
- ・「設立披露祝賀会」(『第一義』第29巻第13号) 本学図書館所蔵
- ・駒澤大学一覧(大正3年1月末調) 大学史資料室所蔵
- ・駒澤大学の校旗(写真) 本学所蔵
- ・昭和初期 正門前の風景(写真) 大学史資料室所蔵
- ・昭和4年 忽滑谷快天学長による講義(写真) 大学史資料室所蔵
- ・駒澤大学門柱(写真)

←曹洞宗大学絵はがき



曹洞宗大学の校旗→



〔展示協力〕

駒沢女子大学、皆川義孝氏(駒沢女子大学准教授)

〔参考文献〕

『駒沢大学八十年史』、『駒澤大学九十年史』、『駒沢大学百年史』、『駒澤大学百二十年史』、『駒澤大学 百二十年史 ビジュアル版』、『宗報』各号、『第一義』各号、全国大学史資料協議会東日本部会『日本の大学—その設立と社会—』、文部省『学制百年史』『学制百二十年史』